



# 個室ユニット型施設 推進協ニュース

2024年  
(令和6年) 3月号  
NO. 199

【発行】一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会  
〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-20-8  
ペネックスS-3 4階  
TEL: 045-577-4212 / FAX: 045-577-4213  
MAIL: info@suishinkyo.net

- 進化する介護大学校 <2・5面>
- 24年度厚労省老健局予算案 <3面>
- 北部九州支部イベント <4面>
- ズバリ回答！人事・労務のお悩み <6面>
- 総務企画広報委員会開催 <3面>
- 尾島の視点 <3面>
- 新支部長・新委員の紹介 <4面>
- 虐待防止研修eラーニング 会員限定で無料化 <6面>
- ユニットケアのあり方検討会 <3面>
- 千葉支部イベント <4面>
- 介護ニュース・ダイジェスト <6面>
- 事務局から <6面>

## 23年度 第8回 介護保険委員会開催

### 「介護報酬改定のポイント」文案を議論

全国個室ユニット型施設推進協議会（赤枝眞紀子会長）は2月22日、今年度第8回の介護保険委員会（委員長・藤村二朗理事）をオンライン形式で開き、先ごろ内容が決定された2024年度介護報酬改定の周知に向けて、改定のポイントをもとめた資料の原案について検討した。この日交わされた議論をもとに文案を修正し、3月7日に第4回理事会で説明・報告された。

厚労省の介護給付費分科会は1月22日、各介護サービスの基本報酬や加算の単位数を決定した。すでに省令改正事項として承認された事柄も含め、内容が多岐にわたることから、推進協は介護保険委員会の場で「介護報酬改定のポイント」として整理する取り組みを進めている。この日の同委員会でも示された文案では事務局から13項目の「ポイント」が挙げられた。主な内容は以下の通りだ。

#### 基本報酬編

前回、前々回と比べ、高い改定率となった。

全体の改定率1・59%から介護職員の処遇改善分0・98%を引いた0・61%が各サービスに配分された。「プラス0・61%が平均的な改定率。これを境にして各サービスの「勝ち負け」が生まれる」（懸上忠寿事務局長）。ユニット型個室の特養が2・8%など施設系サービスに手厚い改定となった。ベースアップについて3年分、引き上げの要請又は引上げに関する言及がある初の改定。

24年度に2・5%、25年度に2・0%のベースアップが明記されている。同水準の賃上げが必須となることを施設経営者は理解しておくべきではないか。

#### 各種加算編

特養では医療連携に関するもの等多数の加算が新設されたが、当面は算定できないものもある。

透析通院送迎は極めて限定的で、新興感染症も対象疾患が未定。生産性向上推進体制加算も見守り機器の全居室設置やインカメラの全職員使用など要件が厳しい。強化された医療介護連携は、診療報酬側でも介護との連携強化に向けた対応が多数なされている。

今回改定の注目の一つ「医療介護連携」推進では、医療機関の協力をどう得るかが課題だが、同時に行われる診療報酬改定においても、協力医療機関が介護施設入所者の急変時に受け入れ対応を行った場合、新たに評価する仕組みなどが盛り込まれた。

LIFEの算定は厳しくなった一方で、LIFEデータによるPDCAの推進方針は明確となった。

自立支援促進加算の単位数見直しや、ADL維持等加算の算定要件見直しなど、アフトカム評価が一層鮮明になった。



2月22日 第8回介護保険委員会

#### 新サービス編

複合型サービスの新設が検討されたが継続検討となった。

訪問介護と通所介護を組み合わせた新たな複合型サービスの設置は見送られ、次期改定（27年度）に向けた検討課題とされたが、地域包括ケアを推進する上でサービスの複合化は必須である。施設系事業者も同サービスの担い手となり、その結果、利用者の困り込みが進むことを考えると、今までの以上に在宅サービスの比重を上げることが求められるのではないかと。

#### 規制の強化と緩和編

特養の人員配置基準について、次期改定を待たずに特例的柔軟化が行われる可能性がある。

介護報酬改定に関する昨年12月の「大臣折衝事項」では、介護ロボットやICT機器の活用を前提に有料老人ホームに認められた人員配置基準の特例的緩和に関して「その他の介護施設（特別養護老人ホーム等）についても、今後の

#### 24年度新規事業

### 実地研修施設の大幅拡充をめざす

推進協は、ユニットリーダー研修事業拡大のネックとなっている実地研修施設不足を抜本的に解消するため、24年度より新規事業に乗り出す。これは、昨年5月から開催されている今後のユニットケアのあり方を考える検討会（委員長II中村秀一・医療介護福祉政策研究フォーラム理事長、国際医療福祉大学大学院教授）での議論や、24年度介護報酬改定に向けた介護給付費分科会での検討を踏まえたもの。

ユニットリーダー研修は、推進協の中心となる主要事業だが、実地研修施設が県内にある事が事業実施の前提として自治体から指摘されることも度々あり、このため、ユニットリーダー研修を実施するための全都道府県・政令指定都市との業務委託契約が現在まで完了

実証事業によって（中略）期中でも、人員配置基準の特例的な柔軟化を行う方向で、更なる見直しの検討を行う」とされた。

短期入所の長期利用について適正化が図られた。

「長期利用の適正化（61日以降）が新設された。」

さらに「ポイント」では、まとめとして今後の方向性を見定める上で、①人件費に関する内外の動向②医療介護連携に向けた医療制度改革③利用者の困り込みにつながる医療機関とのネットワーク整備・強化への目配りが欠かせないと強調した。

一方、委員からは「新設された退所時情報提供加算の『退所』の意味があいまいだ」「多様な介護サービスに乏しい地方では、複合型サービスは必要だ。社会福祉法人が多様なサービスの担い手に変化していくことはありえる」といった声が挙げられた。

## 介護大学校から

#### 【第1期分校】

▽しよらじゅの里三保サテライト分校（神奈川県）は今年度2回目の開催。3月5日よりスクーリングが行われた。

#### 【第2期分校】

▽しよらなあさひが丘分校（愛知県）は、2月1日よりスクーリングが行われた。

▽飯島分校（秋田県）4月18日（木）よりスクーリング開始予定。

▽明尺苑分校（千葉県）5月13日（月）よりスクーリング開始予定。

▽七里分校（埼玉県）6月19日（水）よりスクーリング開始予定。

#### 【第3期分校】

▽慈眼寺園分校（鹿児島県）2月1日開講、スクーリング日程調整中。

▽湘南くすの木分校（神奈川県）7月4日（木）よりスクーリング開始予定。

▽とこのの苑分校（埼玉県）10月26日（土）よりスクーリング開始予定。

#### 【第4期分校】

昨年7月に神奈川県に設置計画書を提出。今月中にも認可がおり、4月からの開講が可能となる予定。

#### 【第5期分校】

昨年12月、新たに10分校の設置計画書を神奈川県に提出し8月には認可がおりる予定。

#### 【今年度を振り返って】

令和5年度もいよいよ残りわずかとなりました。介護大学校の分校として認可済みは21校、認可待ちは15校です（2月末現在）。次年度も引き続き分校募集説明会を開催します。ぜひご参加ください。

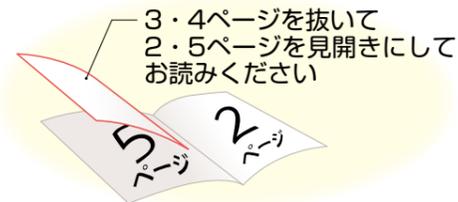
#### 【新規研修のご案内】

▽介護大学校実務者教員を対象とした研修会の開催。実務者教員のスキルアップを目指すプログラムを準備しています。

開催日：5月21日（火）・22日（水）の宿泊研修

※詳細はホームページで

# 大学校と進化する分校

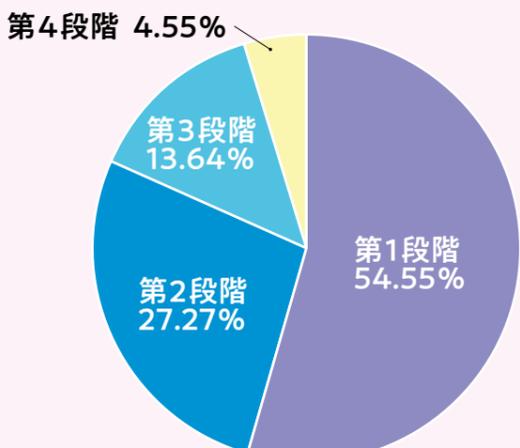


## 分校はこう考えている

## 先の先へ

開放  
自治体との連携事  
介護技術講習会

問：現時点でどの段階を目指しますか



分校へのアンケート調査結果より (N = 22)

(自由記述アンケートより)

○地域とつながる「地域密着の色」を濃く発信していく事が法人施設のブランディングにもつながり、職員の役割覚知と愛社精神の醸成にも寄与してくれるものと考えております。

出来れば…の話にはなりますが、資格取得目的ではなく老いを自由に学ぶことのできる「学びの場」としての機能を発揮したい。例えば、介護大学校分校に地域の方々が聴講生として参加し、自身が老いる事、老いを支えるための必要なケア、老いの先の看取りなど地域の「老いの学び場」になればいいと思う。実際にケアを提供する施設内において能動的に費用負担少なく学ぶことに意味があると思っています。(特養)

○当法人の職員のスキルアップや、働きながら有資格者になれる所。また、外部者の受講も受け入れ人財確保につなげていきたい。また、当法人で、教員の研修を受講してもらい、教えるスペシャリストになってもらいたいという考えがあります。(特養)

とは、スクーリングの職員が行うことをいう。

## 分校ステップアップへの道 教えるスペシャリストを養成

新事業で

### 第3段階、第4段階を目指す取り組み(今後の重点事業)

#### 実務者研修教員特別研修会 (集合合宿方式)

(株)推進協の独自研修で1泊2日で実施。シラバスの作成方法や実技指導も。介護大学校の教員限定。

第1回  
5/21、22  
レクチャー  
熱海小嵐

年1回の開催。介護大学校の教員又は候補者等が対象。有料。

#### 実習指導者特別研修会 (集合合宿方式)

(株)推進協の独自研修で1泊2日で実施。実習指導の模擬演習や介護技術の実技指導も。実習指導者講習会受講者限定。

年1回の開催。実習指導者講習会を修了した後、1年以上の実務経験がある者が対象。有料。

### 法定講習会で第1段階、第2段階を実現し

### そして次へ

大幅拡大を予定

#### 実務者研修教員講習会 (Eラン+オンライン開催)

国の指定講習会で、53.5時間の学習が必要。介護福祉士資格必須、介護の実務経験も5年必要。

年間5回開催を予定している。有料(会員33,000円、非会員55,000円) 但し、割引あり。

#### 介護福祉士実習指導者講習会 (Eラン+オンライン開催)

国の指定講習会で、26.5時間の学習が必要。介護福祉士資格必須、介護の実務経験も3年必要。

年間5回開催を予定している。有料(会員33,000円、非会員55,000円) 但し、割引あり。

### 上記の他、医療的ケア教員講習会も実施中

年数回程度集合方式で開催。正看護師が対象。有料。

設の職員。その他、分校と交流のある施設職員  
6万円(基礎研修受講者) ※消費税込み  
まれます。  
みの場合は割引制度あり  
座を無料で受講可能!

**分校(どこにも負けない施設)になりませんか 分校募集中!**  
問い合わせ相談 ☎045-577-4290 詳細は株式会社推進協HPで。

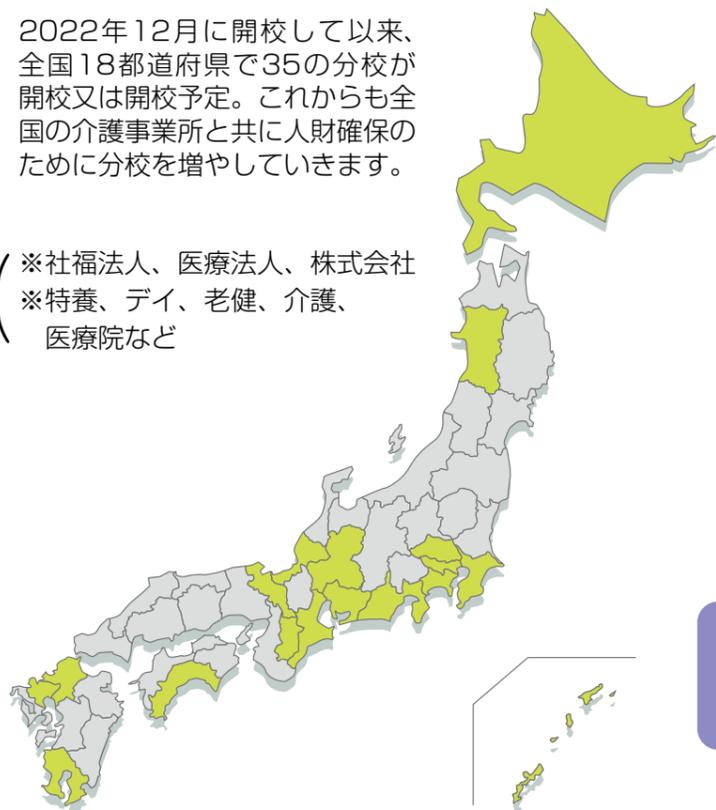
# 動き始めた 推進協介護

## 全国に拡大する分校

## 使い方は多様で 将来性のある分校

2022年12月に開校して以来、全国18都道府県で35の分校が開校又は開校予定。これからも全国の介護事業所と共に人財確保のために分校を増やしていきます。

（※社福法人、医療法人、株式会社  
※特養、デイ、老健、介護、医療院など



### 分校募集中!

■新規開校希望施設募集中!!  
自施設の職員教育のため、同じ県、同じ市町村、同じ町内、地域内でもかまいません。

所在地	分校名
北海道	介護老人保健施設 そよかぜ館
秋田県	特別養護老人ホーム 飯島
埼玉県	介護医療院 七里
	特別養護老人ホーム ところの苑
	特別養護老人ホーム ふあみいゆ行田
	特別養護老人ホーム みなみの苑
千葉県	特別養護老人ホーム 明尽苑
	特別養護老人ホーム グリーンヒル八千代台
	特別養護老人ホーム 船橋こひつじ園
	特別養護老人ホーム 船橋あさひ苑
東京都	リハビリデイセンター ゆずの樹
	特別養護老人ホーム は〜とふる
神奈川県	特別養護老人ホーム しょうじゅの里相模原
	特別養護老人ホーム しょうじゅの里三保サテライト
	たまプラーザ看護学校
	特別養護老人ホーム しょうじゅの里小野
	特別養護老人ホーム しょうじゅの里鶴見
福井県	介護老人福祉施設 みんなと暮らす町
	特別養護老人ホーム 湘南くすの木
岐阜県	特別養護老人ホーム あさくら苑
	特別養護老人ホーム 岐南仙寿うれし野
	特別養護老人ホーム 燦燦
静岡県	特別養護老人ホーム ふくろうの杜
	特別養護老人ホーム 第二長上苑
愛知県	地域密着型特別養護老人ホーム 寿松園
三重県	特別養護老人ホーム しょうなあさひが丘
奈良県	特別養護老人ホーム ゆう
	特別養護老人ホーム らくじ苑
京都府	リハビリ特化小規模多機能型居宅介護事業所 いこいの家26
高知県	Tango nonno nonna
福岡県	特別養護老人ホーム 森の里高知
佐賀県	特別養護老人ホーム 天空の杜
鹿児島県	介護老人保健施設 アザレア
沖縄県	特別養護老人ホーム 慈眼寺園
	特別養護老人ホーム 東雲の丘

介護大学校は、4段階の進化を通じて、母体となっている介護事業所の人財確保のみならず、サービスの向上を実現することで施設機能の強化向上に貢献することを想定して実施しています。

分校&介護施設 → 進化へ

### 目指せ!! 第4段階

#### 第4段階

分校機能の地域への  
地域での介護教育拠点化、  
業も可能性あり。  
(活動の例) 地域住民向けイ

#### 第3段階

#### 教員を社員教育に活用

社員教育システムの構築でケアの質が安定。見える化で定着にも有効。

#### 第2段階

#### 実務者研修の完全内製化<sup>②</sup>

開校が一層柔軟に。自由自在、好きな時に、好きな日程で。

②: 完全内製化  
講義を自施設の

#### 第1段階

#### 介護大学校分校を開校

職員に実務者研修受講の場所や他の便宜供与で有資格人財確保を推進。

### 分校募集説明会!!

- 分校は随時募集中。詳しくは、お問い合わせください ☎045-577-4290
- 介護大学校分校募集総合説明会も年3回の開催 (Zoomウェビナー使用)を予定。参加費無料



日程 6月7日(金)、10月8日(火)、2月13日(木)  
チラシを配布したり、ホームページの案内等で参加者を募集します。

#### 推進協介護大学校分校とは

推進協介護大学校とは、株式会社推進協が行う介護福祉士実務者研修事業のいわゆるブランド名のこと。

分校とは、介護大学校が実務者研修事業を実施の際のスクーリング(集合研修)の会場となる施設・事業所等のこと。

### どこにも負けない施設へ進化

#### <分校開設費用>

- 分校登録手数料 11万円(消費税込み)

#### <開校後に分校が払う費用、もらえる費用>

- 払う費用…無し
- もらえる費用…会場使用料 1日5千円(一開催で4万円)分校へお支払い
- もらえる費用…講師をしていただいた場合の講師謝金(介護過程Ⅲ、医療的ケア分)をお支払い

#### <分校となるために必要なこと・もの>

場所…会議室等、受講者一人当たりの必要面積 1.65㎡  
設備…ベッド、車いす等。詳細は打ち合わせで。  
講師…必須ではない。

#### 分校認可後から実際の運用まで

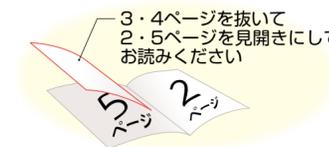
- ①開校日を決定(自施設内等で4名以上の受講者確保の目途が立った時)。  
②開校日は極めて柔軟に決定可能。開校せずも選択肢。
- ②スクーリングの日程も決定←担当講師も協議して決定。本校からの派遣も可。
- ③受講生が確定次第、受講申込手続き、開校通信教育の受講開始→開校。

#### 分校の受講生と受講費用

受講生…主に分校及び分校関連施設  
受講費用…13万円(無資格者)～テキスト代…上記の受講費用に含  
割引…受講生5名以上同時申し込み  
更新の特典…国家試験対策直前講



# 動き始めた 推進協介護大学校 と進化する 分校



## 全国に拡大する分校

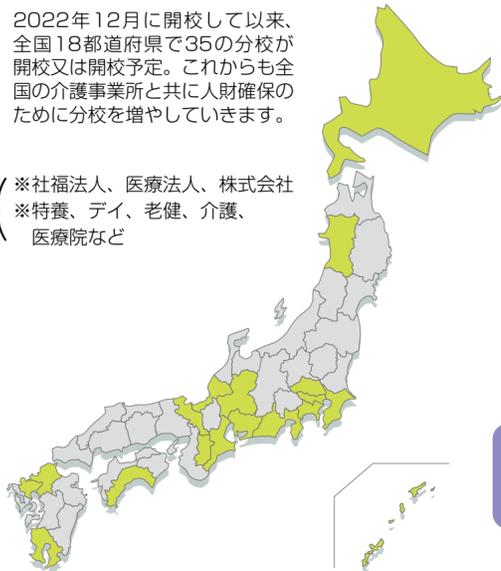
## 使い方は多様で 将来性のある分校

## 分校はこう考えている

## 先の先へ

2022年12月に開校して以来、全国18都道府県で35の分校が開校又は開校予定。これからも全国の介護事業所と共に人材確保のために分校を増やしていきます。

※社福法人、医療法人、株式会社  
※特養、デイ、老健、介護、医療院など



### 分校募集中!

■新規開校希望施設募集中!!  
自施設の職員教育のため、同じ県、同じ市町村、同じ町内、地域内でもかまいません。

所在地	分校名
北海道	介護老人保健施設 そよかせ館
秋田県	特別養護老人ホーム 飯島 介護医療院 七里
埼玉県	特別養護老人ホーム ところの苑 特別養護老人ホーム ふあみいゆ行田 特別養護老人ホーム みなみの苑
千葉県	特別養護老人ホーム 明見苑 特別養護老人ホーム グリーンヒル八千代台 特別養護老人ホーム 船橋こひつじ園 特別養護老人ホーム 船橋あさひ苑 リハビリデイセンター ゆずの樹
東京都	特別養護老人ホーム は〜とびる 特別養護老人ホーム しょうじゅの里相模原 特別養護老人ホーム しょうじゅの里三保サテライト たまプラーザ看護学校
神奈川県	特別養護老人ホーム しょうじゅの里小野 特別養護老人ホーム しょうじゅの里鶴見 介護老人福祉施設 みんなと暮らす町 特別養護老人ホーム 湘南くすの木
福井県	特別養護老人ホーム あさくら苑 特別養護老人ホーム 岐南仙寿うれし野
岐阜県	特別養護老人ホーム 燦燦 特別養護老人ホーム ぶくろうの杜
静岡県	特別養護老人ホーム 第二長上苑 地域密着型特別養護老人ホーム 寿松園
愛知県	特別養護老人ホーム しょうなあさひが丘
三重県	特別養護老人ホーム ゆう
奈良県	特別養護老人ホーム らくじ苑 リハビリ特化小規模多機能型居宅介護事業所 いこいの家26
京都府	Tango nonno nonna
高知県	特別養護老人ホーム 森の里高知
福岡県	特別養護老人ホーム 天空の杜
佐賀県	介護老人保健施設 アザレア
鹿児島県	特別養護老人ホーム 慈眼寺園
沖縄県	特別養護老人ホーム 東雲の丘

介護大学校は、4段階の進化を通じて、母体となっている介護事業所の人材確保のみならず、サービスの向上を実現することで施設機能の強化向上に貢献することを想定して実施しています。

### 目指せ!! 第4段階

#### 第4段階

#### 分校機能の地域への開放

地域での介護教育拠点化、自治体との連携事業も可能性あり。  
(活動の例) 地域住民向け介護技術講習会

#### 第3段階

#### 教員を社員教育に活用

社員教育システムの構築でケアの質が安定。見える化で定着にも有効。

#### 第2段階

#### 実務者研修の完全内製化<sup>⑩</sup>

開校が一層柔軟に。自由自在、好きな時に、好きな日程で。

#### 第1段階

#### 介護大学校分校を開校

職員に実務者研修受講の場所や他の便宜供与で有資格人材確保を推進。

### 分校募集説明会!!

- 分校は随時募集中。詳しくは、お問い合わせください ☎045-577-4290
- 介護大学校分校募集総合説明会も年3回の開催 (Zoomウェビナー使用)を予定。参加費無料



日程 6月7日(金)、10月8日(火)、2月13日(木)  
チラシを配布したり、ホームページの案内等で参加者を募集します。

**推進協介護大学校分校とは**  
推進協介護大学校とは、株式会社推進協が行う介護福祉士実務者研修事業のいわゆるブランド名のこと。  
分校とは、介護大学校が実務者研修事業を実施する際のスクーリング(集合研修)の会場となる施設・事業所等のこと。

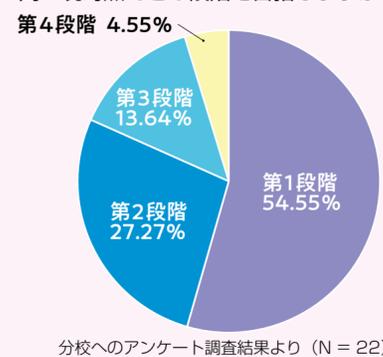
### どこにも負けない施設へ進化

- <分校開設費用>  
・分校登録手数料 11万円(消費税込み)
- <開校後に分校が払う費用、もらえる費用>  
・払う費用…無し  
・もらえる費用…会場使用料 1日5千円(一開催で4万円)分校へお支払い  
・もらえる費用…講師をしていただいた場合の講師謝金(介護過程Ⅲ、医療的ケア分)をお支払い
- <分校となるために必要なこと・もの>  
場所…会議室等、受講者一人当たりの必要面積 1.65㎡  
設備…ベッド、車いす等。詳細は打ち合わせで。  
講師…必須ではない。

- 分校認可後から実際の運用まで  
①開校日を決定(自施設内等で4名以上の受講者確保の目途が立った時)。  
②スクーリングの日程も決定←担当講師も協議して決定。本校からの派遣も可。  
③受講生が確定次第、受講申込手続き、開校通信教育の受講開始→開校。

<sup>⑩</sup>:完全内製化とは、スクーリングの講義を自施設の職員が行うことという。

問:現時点でどの段階を目指しますか



(自由記述アンケートより)  
○地域とつながる「地域密着の色」を濃く発信していく事が法人施設のブランディングにもつながり、職員の役割認知と愛社精神の醸成にも寄与してくれるものと考えております。  
出来れば…の話にはなりますが、資格取得目的ではなく老いを自由に学ぶことのできる「学びの場」としての機能を発揮したい。例えば、介護大学校分校に地域の方々や聴講生として参加し、自身が老いる事、老いを支えるための必要なケア、老いの先の看取りなど地域の「老いの学び場」になればいいと思う。実際にケアを提供する施設内において能動的に費用負担少なく学ぶことに意味があると思っています。(特養)

○当法人の職員のスキルアップや、働きながら有資格者になれる所。また、外部者の受講も受け入れ人材確保につなげていきたい。また、当法人で、教員の研修を受講してもらい、教えるスペシャリストになってもらいたいという考えがあります。(特養)

## 分校ステップアップへの道 教えるスペシャリストを養成

### 新事業で

### 第3段階、第4段階を目指す取り組み(今後の重点事業)

#### 実務者研修教員特別研修会 (集合合宿方式)

(株)推進協の独自研修で1泊2日で実施。シラバスの作成方法や実技指導も。介護大学校の教員限定。

第1回  
5/21、22  
レクチャー  
熱海小嵐

年1回の開催。介護大学校の教員又は候補者等が対象。有料。

#### 実習指導者特別研修会 (集合合宿方式)

(株)推進協の独自研修で1泊2日で実施。実習指導の模擬演習や介護技術の実技指導も。実習指導者講習会受講者限定。

年1回の開催。実習指導者講習会を修了した後、1年以上の実務経験がある者が対象。有料。

### 法定講習会で第1段階、第2段階を実現し

### そして次へ

大幅拡大を予定

#### 実務者研修教員講習会 (Eラン+オンライン開催)

国の指定講習会で、53.5時間の学習が必要。介護福祉士資格必須、介護の実務経験も5年必要。

年間5回開催を予定している。有料(会員33,000円、非会員55,000円)但し、割引あり。

#### 介護福祉士実習指導者講習会 (Eラン+オンライン開催)

国の指定講習会で、26.5時間の学習が必要。介護福祉士資格必須、介護の実務経験も3年必要。

年間5回開催を予定している。有料(会員33,000円、非会員55,000円)但し、割引あり。

上記の他、医療的ケア教員講習会も実施中 年数回程度集合方式で開催。正看護師が対象。有料。

**分校の受講生と受講費用**  
受講生…主に分校及び分校関連施設の職員。その他、分校と交流のある施設職員  
受講費用…13万円(無資格者)~6万円(基礎研修受講者) ※消費税込み  
テキスト代…上記の受講費用に含まれます。  
割引…受講生5名以上同時申し込みの場合は割引制度あり  
更なる特典…国家試験対策直前講座を無料で受講可能!

**分校(どこにも負けない施設)になりませんか 分校募集中!**  
問い合わせ相談 ☎045-577-4290 詳細は株式会社推進協HPで。

# 推進協創立20周年式典の開催内容を検討

## 総務企画広報委員会

推進協は2月26日、総務企画広報委員会（佐々木亀一郎社会福祉法人元氣村常務理事）を開催し、前回は引き続き推進協創立20周年式典の開催方法や内容について話し合った。

なお、会議の冒頭、今回の会議から加わった新委員の紹介が事務局よりあった。新委員は次のとおり。倉上伸夫（医療法人久幸会介護医療院七里事務長）、荻野正之（社会福祉法人邦友会主幹）、阿部仁美（社会福祉法人萩の里理事長）、川島麻貴（社会福祉法人愛人会特別養護老人ホーム慈眼寺園施設長）、八木郁夫（社会福祉法人兼愛会特別養護老人ホームしゅうじゅの里三保副施設長）

5年後、10年後の介護を指し示すポジティブなイベントに

事務局より前回の議論で出された、「参加する意味のある機会にしてほしい、懇親会で初めて挨拶するのでは打ち解けにくい」といった意見があったことを推進協執行委員会に報告し、それに対し執行委員会から様々な意見が出されたことが報告された。これを踏まえ、参加者から、「介護の人材不



2月22日 第8回介護保険委員会

足はどこも同じ。ネガティブな取り上げ方を考えるよりは、5年後10年後の近未来の介護をイメージ戦略として打ち出してはどうか」（山本高之理事長）といった意見や、「推進協として今後何を指すのかを議論をしたり、今後のユニットケアの仕方なども議論してはどうか」（八木郁夫副施設長）といった意見があり、ポジティブに進める方向性が共有された。

イベントの進め方として、事務局から紹介のあったグループワークを行ってから懇親会を開催する流れについては、「少しでも顔なじみの関係を作ってから懇親会は大変いいと思う」（阿部仁美理事長）とする意見があった。

また、会議の開催の流れについて、「参加者などの規模を考慮すべきでは」とする意見もあった。開催場所と日程についても議論が行われた。場所については、遠方からも参加となる委員からは「場所によっては都内でも時間がかかるところはある。都内と横浜ではあまり変わらないのでは」との意見があった。日程に関しては、平日が良いのではないかとの意見が大半となった。これを受けて佐々木委員長が改めて参加者に確認したところ、全員一致で平日が選択された。

場所については、事務局より少しでも交通の便が良い都内とした旨の提案がなされたが、異論はなかった。

今回の議論を踏まえ、佐々木委員長より次回、具体的な案を作成したうえで、さらに詰めていきたいとの提案がなされ、事務局から案を作成する旨の説明がされ、次回、これについて議論されることとなった。

## 第7回 今後のユニットケアのあり方を考える検討会

### ユニットケアに関する介護報酬改定を総括

2月20日、今後のユニットケアの在り方を考える検討会の第7回目の会議が虎の門フォーラムで開催された。会議では事務局より報告事項の説明が資料に基づき行われ、今後の調査研究事業について



2月20日 第7回ユニットケアのあり方検討会

は、タイミングの問題もあるため既に厚労省へ申し入れを行ったことが報告された。24年度の介護報酬改定についても報告があり、介護給付費分科会においてユニットケア関連で議論された項目について事務局が網羅的に説明した。

介護人材確保に活用される社会福祉連携推進法人制度

会議では事務局からの報告の後、山田尋志（社会福祉法人リガール暮らしの架け橋理事長地域密着型総合ケアセンターきたおおじ代表）委員から、社会福祉連携推進法人制度や自身が経営する社会福祉連携推進法人リガールの現状等について説明があった。リガールでは会員が費用を分担する形で、研修等を担当する専任職員を2名採用し人材確保事業を実施してい

## 認知症施策推進などに力点

### 24年度厚労省老健局予算案

厚労省老健局に関わる24年度当初予算案は3兆6606億円で、前年度に比べ305億（0.8%）増加した。市町村の介護給付などに対する国庫負担分をはじめ、介護サービスの維持・確保に向けた金額が3兆3381億となり、前年度より830億（2.5%）アップした。介護ニーズの高まりに加え、介護報酬が1.59%のプラス改定とされたことが数字を押し上げている。

政策的な柱としては「地域包括ケアシステムの推進」に2133億（対前年度129億増）が計上された。包括的支援事業の推進（207億）として、すべての市町村が①認知症施策の推進②生活支援の充実・強化③在宅医療・介護連携の推進④地域ケア会議の開催に取り組みよう求められ

ている。全般的に予算規模が絞られる中、高齢者地域福祉推進事業（老人クラブへの助成）は対前年度1億円の増が確保された。

介護報酬改定でも強調されたDX推進やICTの活用による生産性向上、介護の質の向上の観点では、介護テクノロジー導入支援事業や都道府県が主体となったワンストップ型の総合相談窓口「介護生産性向上総合相談センター」の設置などについて予算措置が行われている。

また今年1月の認知症基本法施行に対応し、「認知症施策の総合的な推進」として134億（対前年度6億増）を盛り込んだ。認知症の予防・診断・治療・リハビリなどの研究を進めるためのバイオマーカーの開発など、認知症

るとし、山田委員は「採用募集の感度を上げることが重要であり、本当に求めていることを学生側に真剣に伝える必要がある」とした。続けて、広島稔之（社会福祉法人照陽会特別養護老人ホームみんなど暮らしやす施設長）参考人から「今後のユニットケアを進める上での方向性は」として2点ほどの論点提示があった。1点目に挙げたのは、アウトカム評価とユニットケアの関係についてであり、介護報酬改定の回を追うごとに強化されるアウトカム評価に対し、ユニットケアはどう順応していけばよいのかと論点を提示した。また、生産性の向上とユニットケアの関係については、ICTの活用がユニットケアをどう向上させるかの具体的な方法や研修が皆無であり、今後どう取り組んでいくのかを問題点として挙げた。

最後に事務局より報告書の目次案が提示され、委員会として次回最終の取りまとめを行う予定としている。

## 尾島の視点

介護福祉士養成校の教員として教壇に立った日から20年の歳月が流れました。教員という職業柄、「教え方」を常に意識してきました。シラバスや指導案を作成する際も、学生達の理解につなげるためにどのような内容で、どのように教えることが望ましいかを考え、創意・工夫を巡らせながら授業の準備やリフレクションを繰り返して今日に至っています。

「むずかしいことをやさしく、やさしいことをふかしく、ふかいかことをまじめに、まじめなことをゆかいに、そしてゆかいなことはあくまでゆかいに」これは、劇作家の故井上ひさし氏の言葉です。私の胸に深く刻まれ座右の銘となっています。他者に何かを教える、説明する事の難しさを感じた方は多いのではないのでしょうか。難しい事を易しく教えるためには、まず自分自身の十分な理解が重要です。十分理解していれば、教えた内容をよく噛み砕いて、ゴクンと飲み込むことができるでしょう。難しい事を難しく教えるのは、誰にでもできるのです。さらに易しいだけでなく、それが実に奥深く、面白く、まじめで、愉快であることにより、聴く人の心に響き、興味・関心を引き寄せ自律的な学びに向かう向上心・向学心につながるものと信じています。

これこそが教育の場で求められるものではないでしょうか。私自身、そんな教員を目指しつつ、仲間も増やしていきたいと強く願っています。

### 【注目研修】

- ▽ユニットケア研修講師勉強会 4月3日(水)
- ▽自己診断研修 4月8日(月)・15日(月)・22日(月)
- ▽ユニットケア研修講師養成研修 4月9日(火)

**施設PRとして**

町亞聖さんに施設をみてもらいませんか！

医療と介護をテーマに啓発活動を続ける、元日本テレビアナウンサー町亞聖さんへの施設見学・対談・講演などの依頼を受け付けております。

ご相談・問い合わせ窓口  
推進協事務局 045-577-4212 町亞聖さん連絡担当宛

## 研修会「湧く湧く介護勉強会」開催

推進協千葉支部（支部長西慶二郎特別養護老人ホーム明尺苑施設長）は13日、新たな介護、人とロボットの融合、真の見守りとは？をテーマに千葉市内で支部主催の研修会「湧く湧く介護勉強会」を開催した。この研修会は千葉県の「介護人材キャリアアップ研修支援事業」に位置付けられており、補助金も交付されている。講演とグループ勉強会の二部構成で行われ、一部には地元の福祉科の高校生も60名近く参加した。

## 千葉支部

冒頭、支部を代表して挨拶に立った西支部長は「新型コロナで従来のようなセミナーが開催できていなかったが、久しぶりに開催できてよかった」と語り、5年ぶりの開催を喜んだ。また、千葉県からは健康福祉部高齢者福祉課の上林明絵課長が参加し、来賓挨拶を行った。

見守りを介護報酬で評価してもらうことが必要



第1部講演会  
野田由佳里聖隷クリストファー大学教授



第2部グループ勉強会講師  
尾島朱美推進協研修室長

「見守りを記録し（介護報酬の）点数化できるようにすることが必要」と話し、介護職員の評価向上と報酬へのフィードバックが望まれるとした。また、外国人活用とIT化が進む現状にも触れ「見守りこそ専門職の介護スキルと言える。今こそ介護職員は原点回帰をすべき」と訴えた。

第二部のグループ勉強会は三班に分かれて行われた。第一班は「知りたい・聞きたい!!他施設の感染症対策がどのように行われているのか参加者で情報交換を行った。第二班は推進協の尾島研修室長が講師を務め、「伝わる記録の書き方」ポイントを押さえた記録発信」として、「ケアプランと連動したケアが実践されているか、ケアプランに基づいたケアの実践が何より重要」と話し、その際に記録をケアプランに連動させていく仕方を説明した。第三班は「知りたい・聞きたい!!他施設の人材育成」として、最近多い外国人材の活用など人材育成の難しさについて意見交換した。



千葉支部 研修委員

## 介護報酬改定に関するセミナー開催

推進協福岡支部（支部長牟田和男推進協理事、社会福祉法人誠和会理事）は27日、九州北部の佐賀支部、長崎支部と合同で介護報酬改定に関するセミナーを福岡市内のホテルで開催した。福岡支部の呼びかけに佐賀と長崎の支部が応じたもの。コロナ禍後では初の集合形式のセミナーとのこと。講師は藤村二郎推進協介護保険委員長（社会福祉法人久住会理事）が務めた。また、福岡支部は参加意識の向上を図るため、セミナーと同時進行で質問をアプリで集める独自の取り組みも行った。

## 北部九州支部

冒頭、挨拶に立った牟田支部長は「今年、3年ぶりの介護報酬改定があったが、どうにかプラス改定となった。処遇改善加算についてはまだ細かい部分が決まっていない。6月からと聞いているが、今日は今回の介護報酬改定が自身の施設にどう影響するのか、しっかりと聞いてほしい」と話し、セミナー開催の趣旨を説明した。また、昨今の介護施設の状況にも触れ、「この3年間コロナで痛めつけられたが、それ以前から介護施設は低介護報酬で苦しい状況が続いていた」振り返るとともに、今改定がプラスとなった要因についても「引き上げを求めて一致団結しての活動の結果だと思う」との認識を示した。

藤村委員長は、第一部では介護報酬改定の背景を説明するとともに、介護給付費分科会が実施した昨年9月の団体ヒアリングの際に昨今の賃金上昇の流れに関連して、「コストカット型社会から、経済社会の物価上昇の流れに対応した介護報酬の抜本的な見直しが必要」と要望したことを報告し、「介護職員の賃金目標と同目標の達成に向けた年次計画の策定及び物価等に連動した新たな介護報酬改定ルール」の策定を提案したことも明らかにした。また、今回の報酬改定で注目点となった処遇改善加算については、介護福祉士の割合がポイントになるのではないかと認識を示すと共に、会場の参加者に割合を聞くなど、意見交換も行った。



開会挨拶  
牟田和男推進協福岡支部長



改定セミナー講師  
藤村二郎推進協理事・介護保険委員長

第二部では令和6年度介護報酬改定における改定事項として、各加算について詳細に説明を行った。なお、セミナーの終了後は懇親会も開かれ、参加者は懇親を深めた。



懇親会の様子

## 新支部長・新委員の紹介

- 【新支部長】
- △新潟支部長 田中晋
- （福）長岡三古老人福祉会
- （特養）福住 理事長
- △三重支部長 岩名真臣
- （福）おきつも福祉会
- （特養）ゆう 施設長
- △岩手支部長 山崎和彦
- （福）成仁会
- （特養）成仁ハウス百年の里理事長
- △静岡支部長 大杉和也
- （福）八生会
- （老福）梅香の里 施設長
- △山形支部長 渋谷磯夫
- （福）慈敬会 理事長
- 【新総務企画広報委員】
- △阿部仁美
- （福）萩の里
- （特養）吉ノ町 理事長
- △川島麻貴
- （福）愛人会
- （特養）慈眼寺園 施設長
- △倉上伸夫
- （医）久幸会 事務長
- △荻野正之
- （福）邦友会 主幹
- △八木郁夫
- （福）兼愛会
- （特養）しょうじゅの里三保副施設長

3月より毎月開催スタート!

実地研修施設への  
スタートアップ

個室ユニット型施設  
自己診断研修会開催!

まずはユニットケア 定着状況の  
自己診断にチャレンジ

誰でも参加可能!

無料

※時間は全日程  
14:00~15:00 第2回目  
※3日間で1セット

★4/8(月)  
★4/15(月)  
★4/22(月)

受講後は 次へのチャレンジ!  
実地研修施設募集説明会  
5/14(火) 14:00~15:00

申し込み 問い合わせ  
045-577-4212

(株)推進協  
新規  
研修事業

一般職員向けのオンライン研修

ユニットケア  
基礎研修

【プログラム】  
13時~16時45分

【内容】  
ユニットケアの理念と  
特徴他(GWあり)

ユニットリーダー研修と同じテキストを使用。  
同じ講師が担当いたします。

令和6年4月より、介護職員は年2回の虐待防止研修の  
受講が義務化されます。

厚労省 虐待防止研修対応  
虐待防止研修  
(Eラーニング)

1本1時間

Eラーニング  
なのでいつも  
も視聴可

# 介護「ユース・ダイジェスト

1月26日(2月25日)

## ■今秋をめどに認知症施策推進基本計画を閣議決定へ(1月26日)

政府は認知症施策推進本部の初会合を開催し、認知症施策推進基本計画の策定に向けたスケジュールを示した。2月から認知症の人や家族を含めた認知症施策推進関係者会議を開き、今年秋ごろの同計画の閣議決定を目指す。

## ■東京都 介護職員「月2万円賃上げ」予算案を公表(1月26日)

介護サービス充実に向けた新規事業として、勤続5年目までの介護職員を対象に月2万円(勤続6年目以降の介護職員とケアマネジャーには月1万円)を「居住支援特別手当」として支給する都独自事業を盛り込んだ24年度予算案を公表した。またDXなどで生産性向上に取り組みリーダー職員を配置する事業所に100万円を支給する「介護DX推進人材育成支援事業」も新規事業として加えた。

## ■岸田首相 介護職らの「公的賃上げ」を明言(1月30日)

1月26日に開会した通常国会の施政方針演説で、昨年の高い賃上げ水準を今年につなげるとし、政府による「公的賃上げ」も行うと明言。「全就業者の14%を占める医療や福祉分野の幅広い現場で働く方々に対して、物価高に負けまい『賃上げ』を確実に実現してまいります」と意欲を示した。

## ■推進協 来年度のユニットケア研修事業の実施方針を实地研修施設に通知(1月31日)

ユニットケア研修事業の来年度における変更点を周知するとともに、自己診断研修事業の新規実施に伴う協力依頼、ユニットケア研修講師の通年養成、实地研修施設の更新調査の予定確認等多面に渡る。詳細な説明会を4月3日に開催する。

## ■NCCU 「2.5%賃上げ」では不十分と訴え(1月31日)

介護労働者で作る日本介護クラフトユニオン(NCCU)は記者

報告会を開き、「2023年賃金実態調査」の結果を公表した。染川朗会長は介護報酬改定に伴い、厚労省が24年度に2.5%の賃上げにつなげるとしたことを取り上げ、「2.5%の賃上げでは全く足りない」と述べた。同実態調査によると月給制組合員の平均賃上げ率は1.4%にとどまった。

## ■市民団体が訪問介護の基本報酬引き下げに抗議(2月1日)

認定NPO法人ウイメンズアークシヨネットワークなど5団体は24年度の介護報酬改定で訪問介護の基本報酬が引き下げられたことに抗議する緊急声明を発表した。「試算すると最上位の処遇改善加算を取得してもマイナス」だとして、介護難民や介護離職が増える」と指摘した。

## ■推進協介護保険委員会 24年度介護報酬改定を分析(2月5日)

年末にまとまった介護報酬改定の内容について分析した。独自の視点でポイントをとりまとめて公表する方針を確認し、次回会合で決定する。

## ■介護情報の利活用策、3月中旬に報告書取りまとめ(2月5日)

厚労省の検討会ワーキンググループで、要介護認定情報、請求・給付情報、LIFE情報、ケアプランの4項目を介護情報基盤を用いて介護事業所、市町村、医療機関、利用者本人の間で共有する仕組みの具体像を検討した。3月14日に報告書がまとめられる予定。

## ■推進協 CEC研修の事例発表会を来年度に開催する方針を決定(2月6日)

ケア環境支援コーディネーター基礎養成研修(CEC研修)の優良な事例が蓄積してきたことを踏まえ実施することとしたもの。ケア環境支援は、ユニットケアならではのものです。推進協として普及に力を入れている。発表会は7月25日にオンラインで開催し、4施設が発表を行う予定。

## ■診療報酬改定で介護施設との連携推進などを明記(2月7日)

中医協は24年6月からの診療報酬改定に向けた個別改定項目を示し、地域包括ケアシステムの深化・推進の取り組みとして、介護施設入所者が急変時の適切な入院受け入れの推進、医療機関と介護施設の連携推進などを盛り込んだ。

## ■中医協 施設入所者の入院加算新設を答申(2月14日)

特養など介護施設から協力医療機関に定められた在宅療養支援病院などが、入所者の急変に対応して入院させた場合の「協力対象施設入所者入院加算」の新設を厚労相に答申した。医療機関側には緊急対応用の病床の常時確保などが施設基準として求められる。

## ■外国人人材の訪問系従事者に向けたヒアリング実施(2月15日)

厚労省の外国人介護人材の業務の在り方に関する検討会はEPA介護福祉士など訪問系サービスで働く外国人を受け入れている事業所に対し、支援体制などをヒアリングした。訪問介護をEPA介護福祉士候補者や特定技能「介護」に認めるかどうかの議論の一環。

## ■WAM調査 特養の職員不足がさらに悪化(2月21日)

福祉医療機構(WAM)が公表した23年度の特養の人材確保に関する調査によると、職員が不足している回答した施設は70.3%で22年度調査から1.7ポイント悪化した。職員不足の原因として「他産業より低い賃金水準」を挙げた施設が63.9%で、前年度の54.9%から大きく増加した。

## ■8通り以上のシフトがある特養が3割(2月22日)

医労連が公表した「2023年介護施設夜勤実態調査」によると、早番・遅番など勤務シフトの種類が最も多かったのは特養で、平均6.2通りだった。老健は5.4、認知症グループホームは5.0。特養では8通り以上のシフトがある施設が29.4%を占めた。

## ズバリ回答！ 人事・労務のお悩み

### どうする？ 新加算 介護職員等処遇改善加算

#### 【今月の相談内容】

今回改正の処遇改善加算関連ですが、複雑怪奇でどこから手を付ければよいのかよくわかりません。どのような段階で準備すればよいでしょうか。

#### 【回答】

まずは、現状どのように分配しているのか、把握をお願いします。処遇改善加算、特定処遇改善加算は、ベースアップ加算がそれぞれどのように配分しているのかを復習します。

2月から5月においては、介護職員等処遇改善支援補助金が、介護老親福祉施設で0.9%の交付率となりまます。高位の加算を含めて、以下、表にして整理します。

令和6年までの介護職員に関する処遇改善加算等の変化

期間	介護職員処遇改善加算(I)	介護職員等特定処遇改善加算(I)	介護職員等ベースアップ等支援加算	支援補助金	一本化後の加算率	合計加算率等	令和6年1月との比較
令和6年1月まで	8.30%	2.70%	1.60%	-	-	12.60%	
令和6年2月から3月まで	8.30%	2.70%	1.60%	0.90%	-	13.50%	+0.90%
令和6年4月から5月まで	8.30%	2.70%	1.60%	0.90%	-	13.50%	+0.90%
令和6年6月から	-	-	-	-	14%	14%	+1.40%



推進協監事・特定社会保険労務士 栗田淳二

①令和6年3月までの加算では、介護職員処遇改善加算(I)で8.3%、介護職員等特定処遇改善加算(I)で2.7%、介護職員等ベースアップ等支援加算で1.6%。  
②令和6年2月～5月まで、支援補助金0.9%  
③令和6年4月～5月までの加算では、介護職員処遇改善加算(I)で8.3%、介護職員等特定処遇改善加算(I)で2.7%、介護職員等ベースアップ等支援加算で1.6%。  
④令和6年6月から一本化され14%。一本化して平たく整理すると、令和6年1月までは12.6%、令和6年2月～5月までは13.5%、同年6月からは14%となります。  
具体的には、加算合計見込額を算出し、そもそも現状の介護職員とそれ以外の職員にどのような割合で分配しているのか計算してください。一本化されたとしても、職員の賃金の支給方法はこれまでのものを原則、受け継ぎ形となりますが、加算区分が無くなる分、分倍割合は予算として明らかにしておく必要があります。

## 推進協 会員限定で虐待防止研修 eラーニングを完全無料化

推進協は23年度より有料配信を開始した虐待防止研修eラーニングの受講について、会員メリットの拡大策として、本年の4月から毎

年、一般会員に限り費用を無料化することを決めた。会員は、これにより推進協が持つ虐待防止研修用のすべての動画が無料で視聴できるようになる。

推進協が実施している虐待防止研修eラーニングは、令和6年4月から介護施設的全介護職員(別途指定する有資格者を除く)に對し、虐待防止研修の年2回の受講が義務付けられることを見越し、一年前倒しし、23年度から始めていたもの。虐待防止研修の受講義務は、24年度の介護報酬改定議論の中で当初の予定通り経過措置を廃止することが改めて決まっていた。近年、施設内での虐待件数も増加(上表)しており、厚労省としても虐待防止に関する何らかの対策が求められていた。

## 身体拘束適正化も義務化へ

また、今回の介護報酬改定では、身体的拘束等の更なる適正化を図

る観点から、短期入所系サービス及び多機能系サービスについて、身体的拘束等の適正化のための措置(委員会の開催等)が、1年間の経過措置期間は設けられたものの義務付けられた。併せて、上記措置未実施の場合の減算規定も設けられている。

推進協では、現在、虐待防止研修eラーニング動画を、本リリースしているが、この本数の増や身体拘束適正化eラーニングのリリースを今後予定しており、年々会員向けサービスを拡充し、これを活用し会員拡大に繋げていきたいとしている。

## 事務局から

今年度も多くのお力添えをいただきありがとうございます。次年度も多くの研修を企画し取り組んでまいります。(事務局一同)

養介護施設従事者等による虐待

